

海外市場展開フォーラムの 取組概要や今後の展望

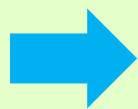
国土交通省 総合政策局
海外プロジェクト推進課
令和8年3月

我が国のインフラシステム海外展開について

日本経済再生におけるインフラシステム海外展開の重要性

◆ 成長する世界における膨大なインフラ需要

- 世界のインフラ投資必要額は2016～2030年累計で
約44兆ドル(=約5100兆円)(OECDデータをもとにみずほ銀行が試算(2016年))
- アジアのインフラ投資必要額は2016～2030年累計で
約26兆ドル(=約3000兆円)(ADB(2017年))



- 膨大な需要を、「インフラシステム海外展開」により日本経済に取り込むことが重要
- 「質の高いインフラ」は日本の強み(安心、安全、快適、環境配慮等)

政府一丸となつての取組

◆ 経協インフラ戦略会議

安倍総理の指示の下、インフラシステム海外展開の司令塔として、官房長官を議長とする閣僚会合「経協インフラ戦略会議」を立ち上げ。(2013年3月～)

< 構成員 >

新しい資本主義担当大臣、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)、総務大臣、外務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣

「インフラシステム海外展開戦略2025」

(令和2年12月10日 経協インフラ戦略会議決定)

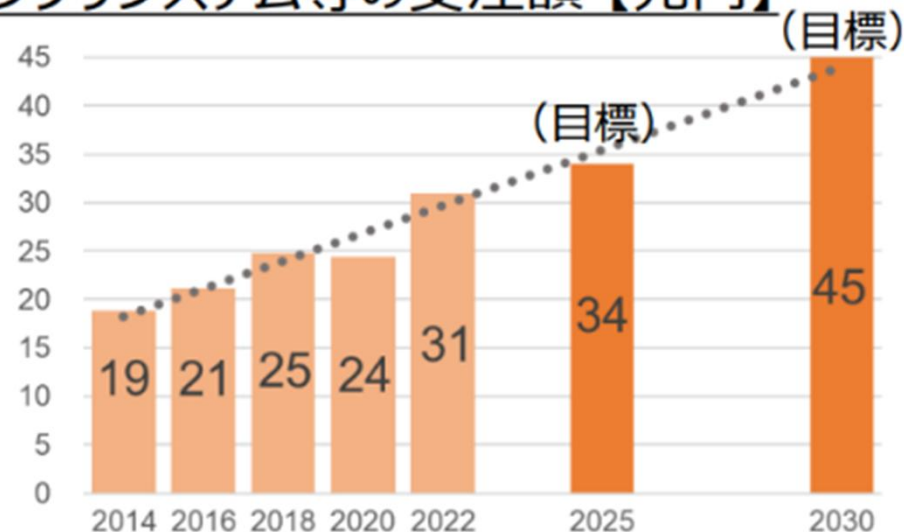


「インフラシステム海外展開戦略2030」

(令和6年12月24日 経協インフラ戦略会議決定)

グローバルサウス諸国をはじめとする新興国の飛躍的な経済成長や、経済安全保障上のリスクの増大等による世界のインフラ市場の構造的変化を踏まえ、戦略をアップデート。

インフラシステム等の受注額【兆円】



- 官民連携の下、新戦略に掲げる各種施策を強力に推進しつつ、我が国企業が2030年に45兆円のインフラシステムを受注することを目指す。

インフラシステム海外展開戦略2030と国土交通省の対応

海外展開戦略2030の概要（国交省関連の記載抜粋）

（1）相手国との共創を通じた我が国の「稼ぐ力」の向上と国際競争力強化

- 相手国のニーズを踏まえた「懐に入る」対応：
 - 質の高いインフラ投資、スマートシティ、公共交通指向型都市開発（TOD）等の推進
- PPPを含めた案件形成の上流への積極的参画支援と提案力の強化
- スタートアップ、ユーザーサービス等、案件の付加価値を高める下流への参画支援

（2）経済安全保障等の新たな社会的要請への迅速な対応と国益の確保

- 経済安全保障上、重要なインフラへの積極的関与：
 - サプライチェーン強靱化等を支援。
 - ウクライナ等における案件形成支援。
- 同志国・グローバルサウスと迅速かつ緊密に連携した案件形成と事業化支援

（3）グリーン・デジタル等の社会変革をチャンスとして取り込む機動的対応

- 新たな市場とルール整備の主導：
 - 国際標準化、アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）構想の実現等気候変動対応
 - 気候変動の適応策（防災等）と緩和策の推進。
- 新たな市場に対応する現地及び本邦人材の育成と交流

■ インフラ整備とO&Mのパッケージ型の案件形成

交通インフラ整備を推進するとともに、整備に併せてその後の運営・維持管理（O&M）へ参画する等により相手国に継続的に関与



丸の内線MRT3号線保守維持管理



パラオ国際空港の運営参画

■ PPPプラットフォームの形成

■ 公共交通指向型都市開発（TOD）の展開

■ スマートシティの海外展開

■ 交通ソフトインフラの海外展開

■ 多国間枠組みの活用

■ 東日本大震災の経験を踏まえたウクライナに対する案件形成を通じた支援

2024年2月に開催された日ウクライナ経済復興推進会議で署名されたウクライナ地方・国土・インフラ発展省との協力覚書に基づき、道路、橋梁、ダム、まちづくり、空港、管制分野等での案件形成を通じた支援

■ サプライチェーンの強靱化

■ 防災・気候変動対策

既存ダムの有効活用等による適応策・緩和策への貢献

■ 国際標準化への対応と活用

- 日本式のコールドチェーン物流サービス規格の展開
- 鉄道分野の国際標準の推進

■ グローバル人材の採用・育成

我が国企業等が積極的に海外事業に参画できるよう、海外事業の実施に不可欠な人材を確保

設立主旨

- メンテナンス分野の海外プロジェクトに関連する官民連携の促進や、国内外のメンテナンスに関する製品・技術・知見を有する産官学の関係者による「プラットフォーム」の構築により、メンテナンス分野における我が国企業の海外展開を図る。
- 海外市場での競争力のあるインフラメンテナンス産業(※)の育成。

※ここでの「インフラメンテナンス産業」とは、インフラを持続的に機能させるための産業を意味し、産業を構成する要素機能(技術)は、点検・診断・補修・更新等の技術に留まらず、運営や経営、投資や資金調達をも含む。

活動内容

- ①ニーズ調査:相手国におけるメンテナンスの状況、法制度 等
- ②シーズ調査:本邦技術の整理等
- ③プラットフォームの提供:セミナーの開催 等
- ④人材育成:海外実務経験者等を招いた講演会・勉強会の開催、海外の技術者の訪日研修等
- ⑤プロジェクトスキームの検討・提案:相手国のビジネスモデルの調査、本邦技術を活用したプロジェクト受注戦略の検討 等

参加メンバー(2025年12月時点)

- 131団体:人数177名 ※事務局は国土交通省海外プロジェクト推進課



設立総会

日時:平成30年3月22日
17:00~18:00

場所:弘済会館

議事:

高橋国土交通大臣政務官挨拶
設立趣意書の承認

講演

出席者:116名

(国内外のメンテナンスに関する製品・技術・知見を有する産官学の関係者)

	対象国	内容	対象国	内容
2020年度  日タイ インフラメンテナンスセミナー2021	タイ	・政府機関(地方)ヒアリング ・セミナー	インドネシア	・行政機関(地方)ヒアリング
2021年度  日インドネシア インフラメンテナンスセミナー2022	インドネシア	・政府機関(中央)ヒアリング ・セミナー	フィリピン	・政府機関(中央)ヒアリング
2022年度  日インドネシア インフラメンテナンスセミナー2023	インドネシア	・有料道路企業ヒアリング ・セミナー		
2023年度  フィリピン インフラメンテナンスセミナー2024	フィリピン	・ニーズ把握アンケート(政府・企業) ・ビジネスマッチング ・日本招聘 ・セミナー		
2024年度  日インド インフラメンテナンスセミナー2025	インド	・ニーズ把握アンケート(政府・企業) ・実証実験 ・ビジネスマッチング ・セミナー	アメリカ (カリフォルニア州)	・ニーズ把握アンケート
2025年度  国交省調査団とカリフォルニア州交通局との意見交換  国交省調査団とドイツ連邦交通省などの維持管理セミナー	アメリカ (カリフォルニア州、 フロリダ州)	・ニーズ把握アンケート(政府) ・実証実験 ・意見交換会 ・ビジネスマッチング	ドイツ (バイエルン州、 ブライデンブルク州)	・現地視察 ・意見交換会 ・維持管理セミナー

2023年の支援内容(フィリピン)

課題解決型アンケート

潜在的なニーズを把握するため、課題に対して本邦技術を紹介し対策を提示するアンケートを実施

Issues and Solutions

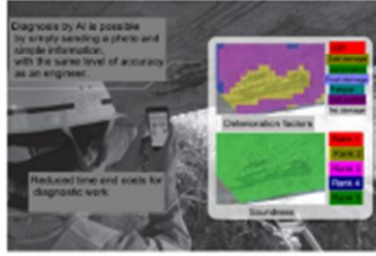
Select Maintenance cycle

Select an issue

- 2-1:Want to diagnose easily
- 2-2:Want to refer to inspection history.
- 2-3:Want to train diagnostic technicians (skill improvement)
- 2-4:Want to diagnose accurately

Solutions

Score=86%

No.	Target	Name	Description	Image
2-1-4	Bridge	AI-assisted bridge diagnosis support system	The system combines registered image data with data on bridge members, crack widths and other parameters, and uses deep learning to realise highly accurate judgements. Anyone can judge the 'deterioration factors' and 'soundness' simply by uploading photos and data, achieving a high judgement accuracy of 90.8% for deterioration factors and 84.4% for soundness.	

Score=83%

No.	Target	Name	Description	Image
2-1-1	Pavement	Simple road surface condition measurement applications	Locally owned smartphones are able to be used as pavement inspection equipment in developing countries and local government agencies with budget difficulties	

ビジネスマッチング

日本企業8社とNLEX(高速道路会社)間で本邦技術の紹介と名刺交換を実施



政府高官の招聘とセミナー開催

- ・政府高官を招聘し、日本の研究施設や現場視察を通じ本邦技術を紹介
- ・アンケートで把握したニーズを踏まえ、セミナーで本邦技術を紹介(6社)



フィリピンセミナー発表内容

	IHI	エイト 日本技術	太平洋 セメント	Datalabs	東亜道路	NEXCO中
発表分野	橋梁	構造物	橋梁	構造物	舗装	舗装
①点検 1-6:損傷を確実に発見したい (見落としを防ぎたい)	○	○			○	
②診断 2-1:簡単に診断したい	○		○		○	○
③補修 3-6:損傷の劣化予測をしたい						
④補修 3-10:補修後の劣化状態を 把握したい	○				○	
⑤記録 4-1:点検履歴を保存したい	○			○	○	

発表企業	発表内容
(株)IHIインフラシステム	・BMSS:橋梁マネジメントサポートシステム ・GBRAIN:遠隔作業支援ツール ・スマートネジ
(株)エイト日本技術開発	橋梁及び構造物維持管理におけるDX技術
太平洋セメント(株)	RFID腐食環境検知システム
DataLabs(株)	3次元データの自動モデル化技術を用いたインフラメンテナンスの変革
東亜道路工業(株)	簡易スマホアプリを用いた道路点検技術
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)	路面性状測定車をフルモデルチェンジ (時速 120 kmで走りながらでも路面の 1 mmのひび割れ変状を見つけます)

R4～R6セミナー参加企業フォローアップ結果

フォローアップアンケート結果（概要）

セミナー後の状況

- R4～R6セミナー参加20社のうち、「進展中」9社、「中断」4社、「進展なし」7社。
- 「進展中」9社と「中断」4社の全社が、セミナー後自ら営業をしている。
- セミナー後、問い合わせがあったのは6社。

セミナー後の課題

- 基準化、品質規格、認証、実証実験等で苦労している。
- キーマン選定など人脈の課題もある。
- 国ごとに基準化、システム変更などの調整をする必要があり、安易な横展開ができない。

国交省に期待するセミナー後の支援策

- 「政府関係者とのコネクション構築」が最も多く14社
- 「プレゼン機会の創出」と「民間企業とのコネクション構築」が次いで12社

ヒアリング結果（概要）

セミナー開催に関する希望

- 先方政府、民間企業間のコネクションを構築できるため、引続きの開催を期待。
- 開催にあたっては、パネルブース、ネットワーキングの場を設けることでより効果的な場となる。

案件形成に向けた支援策

- 技術、材料の認証手続きが現地導入に向けて大きな課題（労力、時間）となっているため、カウンターパート、対象、手続きフロー、期間等の整理を希望。

	対象国	内容	対象国	内容
2020年度  日タイインフラメンテナンスセミナー2021	タイ	・政府機関(地方)ヒアリング ・セミナー	インドネシア	・行政機関(地方)ヒアリング
2021年度  日インドネシアインフラメンテナンスセミナー2022	インドネシア	・政府機関(中央)ヒアリング ・セミナー	フィリピン	・政府機関(中央)ヒアリング
2022年度  日インドネシアインフラメンテナンスセミナー2023	インドネシア	・有料道路企業ヒアリング ・セミナー		
2023年度  日フィリピンインフラメンテナンスセミナー2024	フィリピン	・ニーズ把握アンケート(政府・企業) ・ビジネスマッチング ・日本招聘 ・セミナー		
2024年度  日インドインフラメンテナンスセミナー2025	インド	・ニーズ把握アンケート(政府・企業) ・実証実験 ・ビジネスマッチング ・セミナー	アメリカ (カリフォルニア州)	・ニーズ把握アンケート
2025年度  国交省調査団とカリフォルニア州交通局との意見交換  国交省調査団とドイツ連邦交通省等の維持管理セミナー	アメリカ (カリフォルニア州、フロリダ州)	・ニーズ把握アンケート(政府) ・実証実験 ・意見交換会 ・ビジネスマッチング	ドイツ (バイエルン州、ブライデンブルク州)	・現地視察 ・意見交換会 ・ワークショップ

海外インフラメンテナンス市場への展開支援

○ 東南アジア以外にも、メンテナンスの取組が進み、予算も豊富な先進国も視野にアプローチ

○ ビジネス化に向け、継続したアプローチ

技術認証、現地政府や企業とのコネクション・パートナーシップ構築、相手国の施策への位置づけ等
ターゲットを絞り、現地実証実験等の支援（必要に応じ他省庁等支援スキームと連携）

ご静聴ありがとうございました
